

【 診療科: 口腔外科 】
 【 レジメン登録番号: OS-11 】

〈 Pembrolizumab + CBDCA + 5FU 併用療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
キイトルーダ	200mg	div	○														
カルボプラチン	AUC5	div	○														
フルオロウラシル	1000mg/m ²	civ	○	○	○	○											

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6コース】

【適応癌種: 頭頸部癌 】

【時期: 術前、術後、**手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL ^{*1}	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.5	デキサート 9.9mg ^{*2}	div(15分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.6	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25)	側管div(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	フルオロウラシル 1000mg/m ²	civ(24時間持続)
	ソルデム3A 500mL	

〈第2~4日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.(day2~3のみ)
Rp.2	デキサート 6.6mg	側管div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	フルオロウラシル 1000mg/m ²	civ(24時間持続)
	ソルデム3A 500mL	

【参考文献: Lancet2019;394:1915-28】

【備考: ①6コース終了後、増悪なければキイトルーダ単剤による維持療法を行う(35コースまで)】

【備考: ※1・・・インラインフィルター(0.2~5μm)を用いて投与すること。最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。】

【備考: ※2・・・アプレピタント未使用時は、デキサートの投与量を 19.8mg/回へ倍量にする。】

【変法情報:】